

【本校において目指す生徒像】

- ① 課題を発見し、解決するなど、様々な問題に対応する力を身に付けた生徒。
- ② 多様な考え方や価値観を許容し、自身の成長の糧とする主体的、協働的な態度を身に付けた心身ともにタフで自立した生徒。
- ③ 国際的な視野を持ち、自身の生涯の目標（夢）実現のために、難関大学や国立大学等を目指してひたむきに努力する生徒。

【学習指導方針（スクールポリシー）】

(1) 主体的・協働的な学習の積極的な導入とその深化・改善を図る。

各教科では単元に1回以上、アクティブラーニング（AL）等の主体的・協働的な学習の場を授業で設定することで思考力、判断力、表現力の育成を図る。ALでは、課題の難易度設定や協働学習での場づくりを工夫する。教科会等で手法や教材の分析・評価を実施し、結果の共有化を図る。

(2) ICT 機器を積極的に活用し、動画の利用や情報伝達の効率化を図る。

生じた時間を発展的な課題に取り組みせ、複合的、思考的問題、論作問題等への対応力の育成を図る。

(3) 多様な学習機会を計画し、コミュニケーション能力の育成と自尊感情の高まりを図る。

学校内外の多様な人々と協働しながら、対話的な学びを通じて、考えを広げ・深めるように指導していく。このため、より質の高い活動となるよう、必要に応じて保護者の協力や地域との連携を活かす。

(4) 国際社会・地域社会を牽引する人材に必要な学びの力を養成する。

社会に貢献する人材として欠くことのできない論理的思考力、表現力、言語運用能力等の養成が、学習活動の中に体系的に組み込まれているかを常に分析・評価する。あわせて今後の高大接続改革、大学入試改革に対処するため、最新の情報収集と3年間を見通した指導方法の改善を図る。